

2022年 北海道地区中学・高校ディベート選手権

<第27回ディベート甲子園 北海道地区予選>

大会要項

主催 全国教室ディベート連盟／全国教室ディベート連盟北海道支部

後援 読売新聞社

目的

ディベートの普及を通して、議論の文化を育むこと。

出場選手には本大会において、議論の技術を学び、公平・公正な議論を尊ぶ心を養うことを期待する。

開催期日・会場

2022年6月19日（日） オンライン開催（Zoom）

論題

【中学の部】

「日本は中学生以下のスマートフォンなどの使用を禁止すべきである。是か非か」

- * ここでいうスマートフォンなどとは、テザリング機能を使用せず携帯電話回線を直接使用し、インターネットのサイト閲覧や SNS 使用ができる情報端末とする。
- * スマートフォンなどを所有することと、継続的に借用することを禁止する。
- * 心身の障害など、やむを得ない事情の場合には使用を認める。

【高校の部】

「日本はすべての石炭火力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か」

参加資格・出場校数について

1) 参加資格

- 中学の部 北海道内の中学校（あるいは中学校に対応する中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒
- 高校の部 北海道内の高等学校（あるいは高等学校に対応する高等専門学校、中等教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒
※高等学校等への在籍が3年目までとします。

不明な点は事務局までお問い合わせください。

2) 出場校数 中学の部 6校・高校の部 8校まで

大会ルール

「全国中学・高校ディベート選手権ルール」（2019年2月25日改正）および

「ディベート甲子園オンライン開催時のルールに関する通達」（2021年4月）による。

参照 <http://nade.jp/koshien/rules/> 必ず熟読、確認の上ご参加ください。

なお、立論グランプリ2020をふまえて「証拠資料の引用に関する注意喚起」（2021年3月版）が出版されています。大会への参加準備にあたってご確認下さい。

日程

2021年6月19日（日） 開会式 9:00 閉会式 18:00（参加校数により早まる可能性あり）

申込方法

グーグルフォームを用いて6月7日（火）17:00までをお願いします。

申込用のグーグルフォームはこちらです。 <https://forms.gle/ZWFkYEbJoobTeFK77>

参加校が応募多数の場合

中学校・高校それぞれの参加申し込みが上記の数を超えた場合、申し込みの先着順を基本に、出場校を決定します。出場をお断りする場合は、6月10日（金）までに連絡します。

地区大会参加料

1チーム4,000円 6月7日（火）までに下記口座宛お振込みください

三井住友銀行 飯田橋支店 普通口座 6953260 特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟

※入金はず学校名義で行うようにしてください。

※領収書の宛名を申込時にご指定下さい。

対戦方法と順位の設定

中学校・高校の部門別にトーナメント戦あるいはリーグ戦を行い、第27回全国中学・高校ディベート選手権（ディベート甲子園）に出場する中学校1校および高校2校と、それぞれ優勝・準優勝各1チームを決定します。

チームと引率教師

- 1) 原則として、チームは同一校に在学する生徒4～6名で構成します。
試合出場は4名ですが、試合毎に交代することができます。
各試合では試合開始前に出場選手メンバー表を司会に提出します。
- 2) やむをえず4名以上の出場ができない場合、2名あるいは3名での大会登録を希望するチームは、大会登録時に事情を明記しなければなりません。主催者が認めた場合には、大会への出場が可能になります。2～3名チームで出場する際の試合運営上の規定については、「全国中学・高校ディベート選手権大会要綱」第6条に準じるものとします。
- 3) 同一校からの参加は1チームとします。
- 4) 試合には学校が認めた引率者が帯同するようにしてください。引率者は出場校の教師、あるいは学校が認めた成人とします。

その他

全国大会は8月6日（土）から8月8日（月）まで、立教大学池袋キャンパスにて開催を予定しています。

来場者数の制限等の感染拡大防止策を導入するなど、文化庁・スポーツ庁のガイドラインや、立教大学の指示に従っての運営となります。感染症の状況などによって、オンライン開催となる可能性もあります。

全国大会への出場については、出場校に別途ご案内します。なお、全国大会参加登録料として中学の部、高校の部ともに各学校12,000円をご負担いただく予定です。ご承知おきください。